

飯南

いいなん

議会報

第67号
令和3年10月20日

- 02 9月議会報告
可決した主な議案 陳情
- 03 ICTの活用について諮問
決算審査特別委員会を設置
令和3年度各会計補正予算
- 04 一般質問
- 10 意見書を可決
- 11 採決の結果
- 12 常任委員会報告
議会活動報告 全員協議会の議題
- 14 明日を拓く（新人議員紹介）



9月定例会を終えて

9月7日から17日までの11日間で開催

- ・7月豪雨災害の復旧費として、農地9800万円、農業用施設7億8550万円、林道3200万円、公共土木施設7億2435万円を予算計上した。7月21日専決の災害復旧予算8400万円、8月23日議決の災害復旧予算3億4184万円と合わせ総額で20億円を超えた。

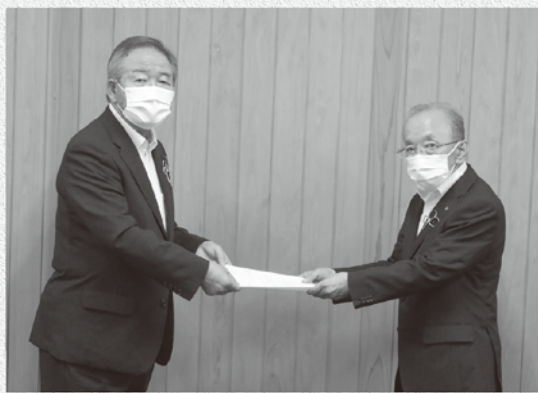
近年にない大災害であり、議会としても復旧状況に注意を払っていく。

- ・飯南町育苗センターの改修（自動換気・灌水設備等の追加）として5799万円を予算計上した。活着の良い丈夫な苗を、安定して提供し続けられるよう、施設運営を含め期待する。
- ・自動運転サービス（路線バス）を10月4日から開始する。基本運賃は路線バスと同額の200円だが、1ヶ月定期代金は1000円と割安に設定しており、赤名地区の方々が有効活用されることを期待している。
- ・飯南町子ども等医療費助成の対象年齢を18歳までに拡充するよう条例改正した。
- ・山陰合同銀行所有の頓原社宅（3戸）を取得し、町営住宅（特定公共賃貸住宅）として活用する。
- ・町道2路線（栗屋谷線、弓取線）を農道に変更し、県営中山間地域総合整備事業を適用して整備する。

ICTの活用について諮問

9月2日、議長から議会運営委員会に、ICTを活用しての議会活性化として、以下の項目について検討するよう諮問があった。

- 議会のICT活用によるペーパーレス化の推進について
- 紙資源の削減だけでなく、議会運営及び審議の効率化を図るためのICT機器（タブレット端末）の導入について



可決した主な議案

条例関係

飯南町子ども等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定など6件

予算

令和3年度飯南町一般会計補正予算（第6号）など7件

諸議案

財産（土地及び建物）の取得など4件

報告

令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

議員提出議案

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

陳情

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出を求める陳情

〔陳情者〕

島根県町村議会議長会
会長 藤原 充博

〔付託委員会〕

総務厚生常任委員会

〔審査の結果〕

採 択

決算審査

特別委員会を設置

令和2年度飯南町一般会計・各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。

12月定例会で審査結果を報告する。

委員長	景山登美男
副委員長	平石 玲児
委員	伊藤 好晴
委員	内藤 眞一
委員	安部 誠也
委員	戸谷 ひとみ

【令和3年度 各会計補正予算】

7月豪雨による農地・農業用施設災害（117件）、公共施設災害（103件）等災害復旧費16億3985万円の増額、繰上償還の実施に1億4670万円の増額など

一般会計 18億8560万円 増額

会 計 名		補正予算額	予 算 総 額
一 般 会 計		18億8560万円	103億2552万円
特別会計	国民健康保険事業	99万円	6億1404万円
	介護保険サービス事業	40万円	3850万円
病院事業会計		2011万円	12億8246万円
簡易水道事業会計		889万円	4億3453万円
下水道事業会計		528万円	5億3089万円



一般 質問

令和3年度 9月定例会

災害復旧を急げ

景山 登美男 議員



Q 避難の援助を

7月12日の豪雨の際、13箇所へ220人余が避難した。避難した人の中には、どうやって避難すればいいかわからなくて困ったという声が多数あった。

以前、避難行動要支援者について質問した際に、いざという時に行動できるような定めておくことは重要だとの答弁があったが、現在の状況は。

町は避難指示を発令するだけでなく、避難の援助を考えてほしいとの意見が多くあったが、町長の考えは。



豪雨による災害(広域農道)

A セーフティネットを構築

町長塚原隆昭

避難行動要支援者をだれが支援するかについては、一部の自主防災組織では決められているが、取り組まれている地区がある。

避難にどのような支援が必要かを日頃から考えておくこと、それを自治会の中で共有しておくことが重要だ。

安心・安全なまちづくりのための強いセーフティネットを構築したい。

Q 災害復旧を最優先に

A 緊急性高いものから

町長塚原隆昭

7月から8月の豪雨では、公共災害、農地・農業用施設災害、林地崩壊など520件余、36億円を超える被害があった。これだけの災害復旧となれば、あらかじめ優先順位を決めて発注すべきと思うがどうか。

公共工事においては、工事現場ごとに現場代理人及び主任技術者等の配置が必要となっている。現場代理人は工事現場に常駐することを義務付けられているが、迅速に災害復旧工事を実施するために、こうした兼務制限を撤廃するなどの特例措置を考えるべきではないか。

現在未発注の工事は、災害復旧工事を優先するため今年度の発注はやめるべきではないか。

災害復旧を最優先で進めるべきであると考えるがどうか。

公共土木災害については、緊急性の高いものを優先する。農地・農業用施設災害については、来年の作付けに極力支障が出ないように努力する。

現場代理人および主任技術者の兼務制限の緩和は、県と協議しながら対処したい。

今年度の公共工事は、これまで順調に発注している。すでに発注している事業の中止は考えていないが、繰越で対応することを検討したい。残りの未発注工事の発注については検討中である。

災害復旧を最優先に取り組み、効率的な復旧工事が進められるよう発注する。

安全確保の検証を

内藤 真一 議員

Q 災害対応の反省点は

7月12日の降雨出水で、「警戒レベル5の緊急安全確保」は、何を根拠に発令したのか。今年5月の「災害対策基本法」改正により、連絡先の届け出をし、近くの安全な建物等または親戚・知人宅へ避難してもよいとした。町民に周知されているのか。

避難情報は自治体で発令できると思うので、早めに対処することが望ましい。この度の災害対応における反省点と復旧はいつになるかわせて聞う。

A 多くの課題を認識

町長塚原隆昭

「緊急安全確保」の発令は、町や消防団のパトロールからの状況報告、加えて町民からの色々な情報により、緊迫した状況が続くようでは安全に避難できないと判断し、ただちに身の安

全を確保してもらうため発令した。

町民への周知は、4月に「飯南町防災のしおり」と「ハザードマップ」を各戸配布した。

反省点として、この内容を6月の防災訓練で周知する予定だったが、中止となり、充分周知できていない。今後自治体単位での避難訓練を実施し、警戒レベルの周知徹底に努める。その他に、避難所の運営、道路状況の把握と情報発信、防災士の活用等さまざまな課題があったと認識している。

災害復旧は、基本的に発生した年を含め3カ年だが、被害が大きいため優先順位や建設業者との調整も必要になる。



飯南町防災のしおりとハザードマップ

Q 町民の安全どう守る

A 専門部署を設置し対応

町長塚原隆昭

災害時の情報提供の手段として、防災無線のほか告知放送などで情報周知がなされた。ただし、電気が遮断された状況ではどうであったか疑問がある。

以前、橋脚へ目印をいれる提案をしたがどうなっているのか。

今回の降雨出水に直面し、今後町民の安全をどう守っていくのか。



新設された防災危機管理室

告知放送は、電池があれば放送を聞くことができるので、適切な管理をお願いしたい。

橋脚への危険ラインの設置については、手続きが複雑で進んでいない。

多様化・激甚化する災害への対応として、危機管理体制が一層求められることから「防災危機管理室」を設置した。専門部署として職員一丸となり、いかなる災害にも迅速かつ的確に対応できるように準備していく。



子どもは町の宝

戸谷 ひとみ 議員

一般 質問

令和3年度 9月定例会

災害復旧の 環境整備を

高橋 英次 議員



Q工事現場兼務制限 の緩和を

公共工事においては、現場代理人の常駐、請負額による制限などがあるが、災害現場の早期復旧においては、現場兼務制限の緩和を行うべきだ。
また妥当な件数はいくらか。

A現場代理人の 制限はない

町長塚原隆昭
請負額3500万円未満の工事については制限していない、それ以上は専任だ。
件数については、県や建設業協会と協議し検討する。協会からは3500万円以上の工事については5件程度との要望がある。

Q町内事業所の残土 処理場は限界では

災害復旧工事における建設発生土は、水分含量、土質によつて再利用できないものが多く、町内事業所の残土処理場での処理となるが、すでに処理能力の限界ではないかと思われるが認識は。

A残土処理調整会議 で確保を検討

町長塚原隆昭
建設業協会からも聴いており、各事業所とも限界になりつつあると認識している。現在は、町として共同で利用できる残土処理場はない。
今回の災害応急の残土は、以前の下来島地内の最終処分場を利用し応急的に

対応している。
他には、国土交通省の出雲河川事務所から、志津見ダム周辺の用地2ヶ所の土地を仮置き場として許可を得ている。雲南市掛合に民間の残土処理場が整備されるが有料である。
県との残土処理調整会議があるので、県・建設業協会と連携し残土処理場の確保を検討するが、運搬距離、処分料を考えると、現場付近での処理が望ましい。田んぼのかさ上げ案もあり、比較して安価なら有効に考えたい。



防犯カメラ

Q防犯カメラの 設置は

通学路や公園における児童・子どもの安全確保と見守り、地域の防犯への貢献のため、防犯カメラの設置を提案する。

町長の公約、「安心安全なまちづくり」にもなるのではないか。

A寄贈分で増設

町長塚原隆昭

防犯カメラの有効性は認識している。

町が管理する14台の防犯カメラを設置しているが、すべてが寄贈されたもので、今年はJA共済連からの3台を予定している。

設置費用・管理費・更新などがあり、まとめた増設は難しい。寄贈を頼りの設置になるが、少しずつ増設したい。

Q子ども広場の 方向は

子ども広場(児童遊園)の整備を早急に検討し進めたいとの発言があった。
あらゆる年代の人が利用できる場所(公園)であつて欲しいと思うが、町長の考えは。

A子育て世代を支援 する公園の整備を

町長塚原隆昭

3歳未満の子どもでも遊べる遊具があり、ベンチや東屋もあれば保護者が交流でき、年配の方も一緒に過ごせる。また、来島交流センターにあるような室内用の遊び道具も必要に応じて整備していく。

子育て世代にアンケートを行い、意見交換の場も設定する。できる限りニーズに応えたい。

Q子ども未来推進室 今後の展開は

出合いの創出や子育て世代が安心して産み育てられる環境づくりと、幼児教育を強く推進するということで、今後の展開に注目している。

すぐに取り組めることとして、住民課・教育委員会・保健福祉課・福祉事務所などが作成する子育て世代に向けた文書や情報の一元管理を提案するがどうか。

A情報集約し発信

町長塚原隆昭

本年度内に誰でも見やすく、欲しい情報が探せるようなホームページの内容にリニューアルする。職員のスキルアップも考え、研修等も行いながら情報の発信力を強化したい。

子どもや子育て世代向けの情報は「子ども未来推進室」でできる限り集約し発信するよう取り組んでいく。

Q放課後子ども教室 の求人

放課後児童の安心な活動拠点(居場所)を提供している「放課後子ども教室」では、スタッフの確保に苦労していると聞く。どのような対策を考えているか。



放課後子ども教室

A勤務形態などを 検討

教育長 大谷 哲也

昨年度以降、スタッフ募集に応じた3名が職場体験をされたが「想像以上に子どもたちの動きについていくことが大変である」などの理由で辞退された。

人材確保支援センターへの相談状況を聞くと「夕方からの変則勤務に対応することが難しい」といった声もあるようだ。応募者が少なく人材確保に苦慮している。

例えば、午前中は給食センターで、夕方から子ども教室で、結果的に1日の雇用という勤務形態もある。興味がある人は気軽に職場体験をしていただきたい。

この他に、放課後等デイサービスと若者のたまり場づくりについても質問があった。



一般 質問

令和3年度 9月定例会



幹線道路の 安全確保を

安部 誠也 議員

Q 安心安全の 道路整備

7月豪雨による通行止めで、町全体が孤立した。通勤や通院で苦労があったと聞いている。国道54号などの道路整備を、近隣市町とともに国・県に要望すべきだ。

国交省は2019～2020年の道路施設点検結果を発表したが、赤名トンネル・晴雲トンネルの点検結果はどうか。トンネルの新設・改良の要望はどのように考えているか。

瑞穂・高野インターアクセスと大田・安芸高田道路建設の可能性は。

A 今年の重点要望で

町長 塚原隆昭

雲南地域や出雲地域の幹線道路改良整備促進期成同盟会に参加しており、町の幹線道路の強靱化を要望している。国交省の道路施設点検では両トンネルとも「早期措置段階」で、今年度



新設・改良が望まれる赤名トンネル

に剥落部対策工事が実施される。

費用対効果から改良は難しい状況だが、今後も関係機関、国会議員へ強く要望していく。

瑞穂・高野インターアクセス道路整備は、今年度の知事要望で重点要望する。

大田市と安芸高田市を結ぶ高規格道路網は本町を通過しないが、瑞穂・高野インターアクセスと交わり、新たな広域交流圏形成を期待する。

Q 感染から子どもを守るために

子どもは感染しにくく、人にもうつしにくいとされていたが、実態はそうではなかった。子どもへの感染防止対策は非常に重要と考える。

保育所や教育現場へウイルスを持ち込まないために、登園・登校時の検査が重要と思うが、対策されているのか。発生を前提とした対策はできているか。保育所や学校職員への定期的なPCR検査の実施を求める。



無症状者の発見と保護が感染対策の要と思う。感染が深刻になった場合（町内での発生が確認された場合など）、職員や児童生徒が抗原検査を自宅で行える体制が必要と考えるがどうか。陽性が確認された場合、濃厚接触をせねばならないと対応することが重要である。広めのPCR検査を行う検査として行うことを提案する。

コロナウイルスと感染の仕組みを、自身で考え行動する学びの保障が必要と考える。教職員についても同様。どう考えるか。

A 家庭より医療機関

町長 塚原隆昭

県や国から示された通知に基づいて対応することを確認しており、保育所長、小中学校校長会などで感染防止対策の徹底を指示している。

検査は国が配布する抗原検査キットを使う予定だが、まだ届いていない。

PCR検査も大事かもしれないが、まず医療機関へ行ってもらおう。

家庭で検査しなくても、感染が拡大することはないと考える。

A 学びには取り組む

教育長 大谷哲也

各家庭における検温、体調管理を指導している。発熱・体調不良の場合は登校中止ということだ。

学びについては、自分自身で感染防止に向けた行動がとれるよう学校現場でも取り組んで行く。

Q 加齢性難聴への 公的助成を

加齢により耳が遠くなる人は多いが、対応を個人任せにせず、社会的に取り組む必要がある。加齢性難聴が、認知症の重要な危険因子との認識があるか。

日常生活に支障をきたす中等度の難聴の人は町内に何人いると把握しているか。認知症予防をはじめとした介護予防のためにも、高齢者の生活を支援し社会参加を促進する補聴器購入助成を、中等度の難聴者に対して行う必要があると考えるがどうか。

A 助成しない

町長 塚原隆昭

町内での該当者は把握していない。

町単独での助成は考えていない。国・県での制度化がまず重要と考える。

Q 赤名峠の復旧を 急ぐ

NHKラジオ第1で放送された「石丸謙二郎の山カフエ」で、赤名峠が紹介されたが、一般の豪雨で倒木や橋が流失している状況だ。

赤名峠は、町内有数の歴史的遺産で、速やかな復旧を求める声がある。町は行動すべきと考えるがどうか。

A 生活に直結する ところから

町長 塚原隆昭

このような形で赤名峠が紹介されたのも、銀山街道応援団による歴史的遺産の保全活動が継続して行われて来たからこそ。

被災状況は聞いているが、今は住民生活に直結する災害復旧を優先する。



採決の結果

[9月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	熊谷兼樹	内藤眞一	高橋英次	安部誠也	景山登美男	安部丘	平石玲児	戸谷ひとみ
飯南町手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町生活路線バス運行に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
頓原高齢者創作館の設置及び管理に関する条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町子ども等医療費助成条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(土地及び建物)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町過疎地域持続的発展計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[9月定例会における陳情の採択結果]

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[9月定例会における議員提出議案]

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--------------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[臨時会(8月3日開催)]

令和3年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(消防軽積載車)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[臨時会(8月23日開催)]

令和3年度飯南町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○:賛成 ●:反対

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し
地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増高が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。





育苗センターを視察

教育経済

常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：安部誠也
委員：伊藤好晴 内藤眞一 高橋英次

令和3年度 飯南町一般会計補正予算(第6号)

育苗センター整備事業 5799万円

飯南町育苗センターのハウス自動換気・灌^{かん}水設備、水量確保のための水源設備等を追加する経費である。

指定管理者であるJAしまねの責任や地域農業に貢献しようとする姿勢が見えないことを問題視する意見があった。本町農業にとって重要な施設であり、来春の水稲作付けに影響しないよう改修しなければならないという点では一致した。

水稲生産を取り巻く状況をしっかり把握し、水稲生産者のニーズに沿う方向で施設が整備されることを求める意見があり、これまでの個人の知識、経験そして努力に頼った生産体制を見直し、次のステップアップのためのデータ集積と人材育成に努めるとの答弁があった。

小学校教育振興共通経常管理費 164万円

ICT教育推進に必要な職員研修や、タブレットの初期設定をサポートするため、サポーターを民間の専門業者に委託する経費。

新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、ICT社会に対応できる人材育成を本町の教育の根幹に据え進めるべきとの意見があった。教える側のICT教育の温度差をなくし、それを日常化することが大事との答弁があった。

町民プール臨時管理費 215万円

7月豪雨災害により頓原町民プール機械室が浸水し、排水ポンプが故障したため修繕する経費。

農地災害復旧事業 9800万円

農業用施設災害復旧事業 7億8550万円

農林水産業施設災害復旧費の受益者負担金はいくらになるのか、受益者負担は無しにするべきではないかとの質疑があった。

これについて、令和2年災害も激甚指定で、その例では受益者負担を無くすのは難しく、農地災害復旧は事業費の0.72%、農業施設災害復旧は0.18%であった。最終的に受益者負担割合が決まるのは来年3月との答弁があった。



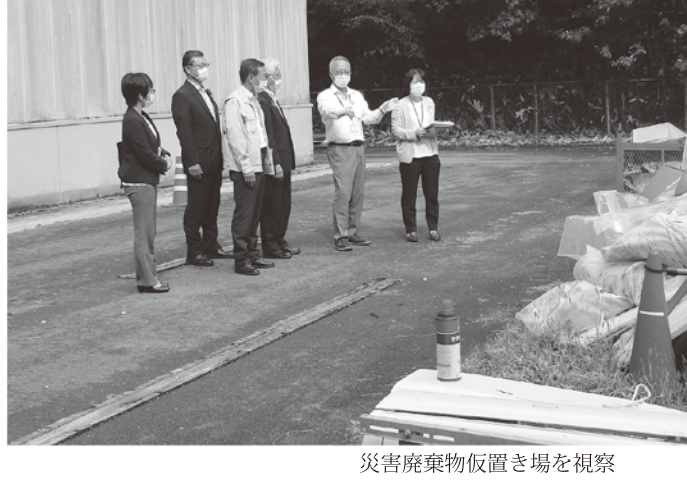
豪雨で流された土砂と林地残材

常任委員会報告

総務厚生

常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：平石玲児
委員：早樋徹雄 安部 丘 戸谷ひとみ



災害廃棄物仮置き場を視察

条 例

飯南町生活路線バス運行に関する条例の一部改正

10月4日より、道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転サービスが開始されることに伴い、利用料金を定める。

飯南町子ども等医療費助成条例の一部改正

10月1日から、町単独事業として実施する医療費助成の対象年齢を、満18歳に達した年の年度末まで拡充する。

令和3年度 飯南町一般会計補正予算(第6号)

【歳入】

地方交付税 普通交付税 2億1799万円

普通交付税総額は34億7391万円となった。これにより、財政調整基金2410万円とまちづくり基金5000万円を戻し入れる。

【歳出】

会計事務経常管理費 19万円

令和3年度分の8月末までのコンビニ収納は、件数で全体の9.68%、納付額で全体の3.71%となり、手数料が増加する。

地域振興臨時管理費 200万円

島根県市町村振興協会補助金により飯南高校神楽愛好会に支援、飯南神楽団・賀田城ウォーキングの会に助成する。

町営バス運行経常管理費 157万円

自動運転サービス開始に伴う運行経費。
サービス開始の案内に合わせ、回数券・定期券の購入方法を周知するよう求めた。

町営火葬場臨時管理費 51万円

町営火葬場の井戸水濁水による給水施設整備費。

清掃総務経常管理費 16万円

7月豪雨災害により程原地区へのごみ収集車乗り入れが困難になったため、復旧までの収集運搬作業を地元へ依頼するための経費。

雲南市・飯南町事務組合臨時負担金 73万円

7月豪雨災害により、町内で発生した7.1tの災害廃棄物処理費用を町が負担する。



10月から始まった自動運転サービス

全員協議会の議題

令和3年8月3日(火)

- ① 7月12日からの豪雨災害等
- ② 被災者支援制度
- ③ 新型コロナウイルスワクチン接種
- ④ 飯南町新過疎計画の策定
- ⑤ 飯南町地域づくりアドバイザー及び地域づくりビジョン
- ⑥ 可燃ごみの統合処理

令和3年8月23日(月)

- ① 7月豪雨災害等
- ② 新型コロナウイルス感染急拡大対応

令和3年9月16日(木)

- ① 行政手続きにおける押印等の見直し方針
- ② 総合振興計画等評価委員会の答申
- ③ 新・町政要覧
- ④ 町有施設の指定管理者の公募
- ⑤ 宿泊施設を伴う観光施設の今後のあり方

議会活動報告 [7月～9月]

- 7月5日 議会広報編集委員会（紙面校正作業）
- 12日 議会広報編集委員会（紙面校正作業）

- 8月3日 臨時議会 ・ 全員協議会
- 15日 飯南町成人式
- 23日 臨時議会 ・ 全員協議会
- 25日 雲南広域連合議会定例会
- 27日 一期議員研修会（松江市）

- 9月2日 議会運営委員会（9月定例会の議案説明、日程ほかの協議）
- 7日 9月定例会：本会議、町長提出議案の説明
- 10日 ：本会議、一般質問
- 13～15日 ：常任委員会審査
- 16日 ：常任委員会審査、予算特別委員会審査・全員協議会
- 17日 9月定例会：本会議、討論、採決
- 22日 議会広報常任委員会（議会広報誌編集作業）
- 27日 議会広報常任委員会（議会広報誌編集作業）

新人議員紹介

戸谷ひとみ 議員

私は、山口県玖珂郡本郷村という中山間地域にある村で生まれました。面積は飯南町の6分の1。2006年に吸収合併され岩国市になりました。

私が中学生だった29年前の人口は約1500人。今は約700人です。村に一つあった中学校の同級生は13人。今は誰も地元に住んでいません。帰省しても同級生に会うことは、ほとんど



戸谷議員

ありません。「久しぶり。元気だった？」と話をする相手がない。「お互い、年取ったね。」と笑い合える同級生がいないことが、どんなにさみしいことか……。きつと、想像していただけたと思います。

私には、小・中学生の3人の子どもがいます。中学生の長女のクラスは19人。小学生の次女と三女のクラスは11人です。

子どもたちが大人になった時、はたして何人の同級生が飯南町で暮らしているのか。大好きな故郷を思った時、今の私のようにさみしい気持ちになって欲しくない。だから「子どもたちが戻ってきたい、住み続けたい」と思える町にしたい」と強く思っています。

8月から議員活動がスタートし、戸惑うことも多々ありますが、一つひとつ勉強し、住民の皆様が一番近い議員として努力してまいります。

【私が取り組む3つの柱】

- ①飯南町をブランド化します
- ②飯南町を子育てパラダイスにします
- ③飯南町を一つにします（対話で紡ぐイイナンミライ構想）



平石玲児 議員

このたび、皆様のご支援をいただき、飯南町議会議員としての第一歩を歩み始めました。

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は世の中に色々な制約をもたらしました。また、異常気象により、この夏には記録的な豪雨が相次ぎました。被災されました皆様方には、深くお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を願うところであります。

このような状況において、町



平石議員

民の皆さまの代表として、職責の重さを深く感じ、身の引き締まる思いです。皆様のご期待に沿えるよう頑張っていく所存でございます。

私の自己紹介をします。現在、私は真木地区で妻と母の3人で暮らしています。ほかに3人の子供と4人の孫がいます。6年前に自衛隊を定年退職し、生まれ育った地に恩返しをしなければとふるさとに帰りました。

自衛隊では、かけがえのない経験をさせていただき、国の防衛はもとより、紛争終結後のPKOでの海外派遣や阪神淡路大震災、東日本大震災など数多くの災害等に派遣され、微力ではありますが、世界の平和や国民の皆様の民生の安定に寄与できたのではと自負しております。

こうした経験から、命を守り安心安全なまち、即ち、防災・減災・医療・福祉のまち、農林業を中心としたまちを目指して「ふるさと飯南町を守る」を胸に皆様のお声を町政へとおつなぎし、発展をさせなければと決意を固めています。

どうか皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

今月の表紙写真



マスクもせずに語らうおじさんたちがいる。これは4年前の9月に佐見老人クラブが主催した「かかしまつり」での一コマです。秋の交通安全運動に合わせたので反射たすきをしています。お話が聞こえてきそうな情景です。コロナ禍のもとでは案山子（かかし）さんもマスク姿でしょう。「かかしまつり」も開催できない今、忘れてはいけないのは、地域の交流と人の絆です。マスクのない生活が待ち遠しいですね。